

実践例 那須塩原市立共英小学校

教科・科目等 図画工作（2学年）

本時の目標

色の組み合わせを工夫して、自分の肌の色に近い色を作って塗ることができる。

育てたい資質・能力等

違いを認めることの大切さを知る。（知性）

教材 絵の具、画用紙、ペン、「人権の窓」（外国人の人権編）（小学生用）

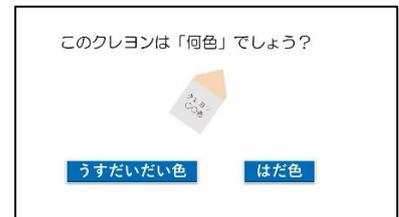
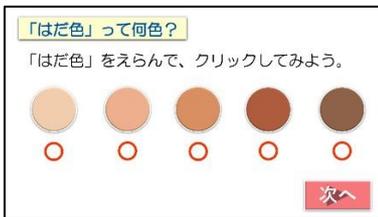
展開（2時間で実施）

●手形をつくる。自分の肌の色を絵の具で作って塗る。



←児童の活動の様子

●肌の色は一色ではないことを知る。「人権の窓」を活用し、どの色も肌色であることや、肌色＝パールオレンジではないことを知る。



●手形の肌の色や形を並べ、色々な色や形があることを知る。

●肌の色の違いにより差別された女の子の話を聞く。

事後学習との関連

●学級活動において手形の花束の掲示物を作成し、教室背面に掲示した。

●校内人権週間期間中に本授業を実施し、校内放送や人権集会を通して「違いを認め合うことの大切さ」について、より考えを深めることができた。



作成した掲示物→